

2025年度自己点検・評価報告書

神奈川歯科大学

プログラムの運営責任者

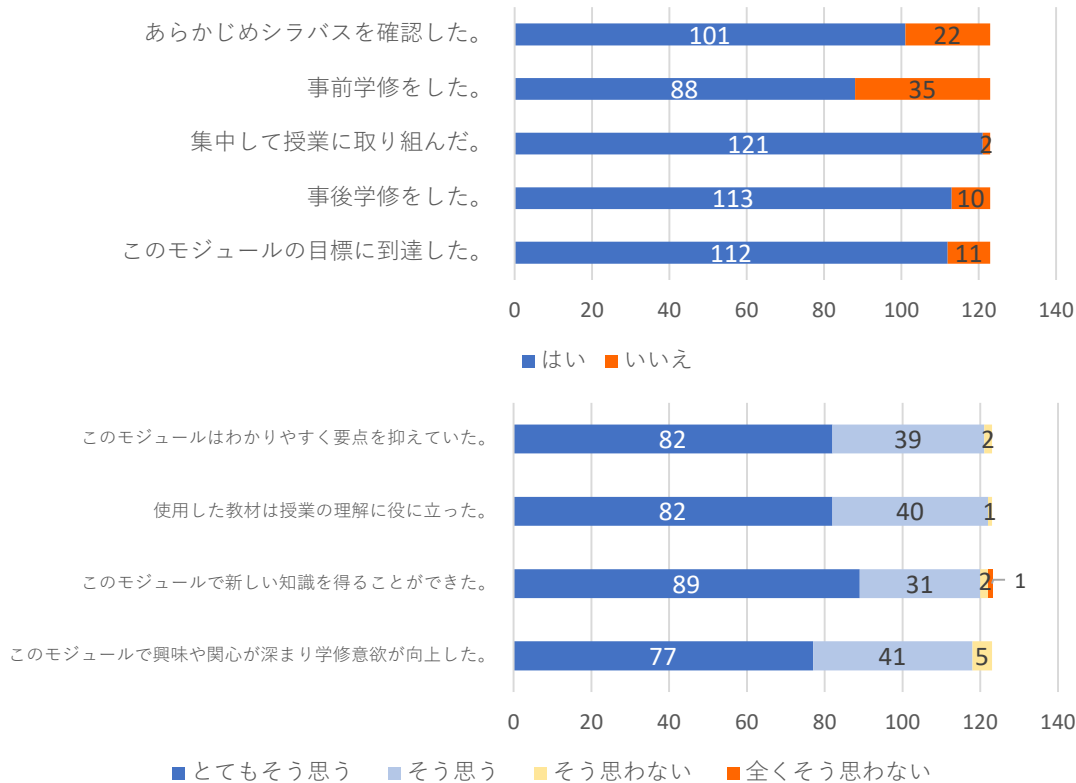
板宮 朋基

点検・評価項目	点検結果
プログラムを構成する授業概要	(1)「K1114歯学のための数学・物理」 1年stage2 単位 0.9単位 (2)「K1115数理・データサイエンス・AI」 1年stage4 単位 1.5単位
プログラムの履修・修得状況	本教育プログラムの終了要件である「K1114歯学のための数学・物理」および「K1115数理・データサイエンス・AI」は必修科目であるため、1年生全員が履修しており修了した学生は110名であった。
学修成果	対象学年1年の在籍者数は127名であるが、2025年4月1日現在の休学者2名を除く125名が該当者であった。 履修者数:125名 修了者数:110名 履修率:88.0% 未修了者は再履修となる。

学生アンケートによる授業評価

歯学のための数学・物理 授業評価アンケート

(回答者123名)



- ・診療や医療器具の理解に数学・物理の知識が欠かせないことを知った。特にレントゲンや咬合力の仕組みが臨床に直結していると感じた。
- ・数学の授業を通して、論理的に物事を考える力や、複雑な問題を段階的に解決する力を養うことができました。
- ・物理学が単なる学問ではなく、私たちの住む世界を理解し、より良い社会を築くための強力なツールであることを実感されたことと思います。基礎から応用、そして目に見えない現象の法則性まで、段階的に学ぶことで、それぞれの分野が独立しているのではなく、密接に繋がりが合っていることに気づきました。
- ・1stageに比べて授業難易度も上がった上に授業の進み具合も速かったのでついていくのが大変だったが、後半は少しずつ慣れてきて楽しかった。
- ・授業でしっかり説明もなく、スライドもちゃんと書いてない材料の名前を試験問題として出すのは生徒に優しくないと感じました。(一部抜粋)

点検・評価項目	点検結果
<p style="text-align: center;">数理・データサイエンス・AI 授業評価アンケート (回答者117名)</p> <p>はい いいえ</p> <p>とてもそう思う そう思う そう思わない 全くそう思わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会に必要な知識と数理データに対する授業がとても役に立ちました。 ・この授業は、理論的な概念と現代のデジタル時代に求められる実践的なデータ分析スキルとの間のギャップを埋めてくれました。 ・日々の演習問題を通じて授業内容をより一層理解しやすかったです。さらに最新のデジタル機器による立体的な解剖実習(3D実習)を見ることができ、もっと学びたいという思いが強まりました。日々楽しい授業でした。本当にありがとうございます。 ・パソコンが苦手だったのでExcelの授業があることで基本的な使い方が知れて良かったです。 ・数式や統計は計算のためだけでなく、現実の事象を客観的に理解するための重要な道具であることを学んだ。特に、平均や分散、相関係数などを用いてデータの特徴を把握する方法は、感覚や印象に頼らずに物事を判断する上で役立つと感じた。また、相関関係と因果関係は異なるという点を学び、データを読み取る際には注意深い考察が必要であると理解した。今後は、医療や研究の場面においてもデータを正しく扱い、根拠に基づいた判断ができるよう、この授業で学んだ基礎を生かしていきたい。 ・正直に言えば、データサイエンスAIは授業内容の核心がまともに理解されなかった。数学だけした方が集中しやすかったと思う。(一部抜粋) 	
学外からの視点	プログラム開始3年目であり、修了者が卒業していない。
改善に向けた取り組み	数理・データサイエンス・AIに関する理論の講義とPCを用いた演習の内容が密接に連動し、学生の理解が促進されるように各講義回の内容を見直す。 歯科医療に関係した身近なデータを活用したデータ分析演習の内容を追加する。